

教育委員会だより

第18号(平成29年8月～平成29年11月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

☎ 0585-45-3111 Fax 0585-45-8314

E-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

来年度より池田中2学期制導入

池田町の小・中学校は現在「1学期・2学期・3学期」に分けた3学期制を取り入れていますが、来年度から池田中においては「前期・後期」の2学期制を取り入れる予定です。

中学生にとって1学期末は、部活動の集大成である中体連の大会と、学期末のテストが重なり、大変慌ただしい中でそれらに取り組みなければなりません。子どもたちに十分にその力を発揮してもらうためには、その負担を少し軽くしたいと考えます。試験の回数は年間4回で今まで通り変わりません。長期の休暇を利用して課題にしっかりと取り組み、期末テストに臨むことができます。また先生方もゆとりをもってより丁寧な指導ができます。

県内の他の市町でも2学期制を取り入れる学校が増えていきます。保護者・市民の皆様にはご理解のほどよろしくお願いいたします。

養基小研究発表会開催される

10月30日(月)、池田町・養基組合教育委員会指定の研究発表会が養基小で開催され、町内各小・中学校の先生方約170人が参加されました。養基小では、社会科、生活科及び特別支援教育を軸として、「社会生活に生きてはたらく知識・技能と学び方の定着」を目指した研究実践が推進されてきました。公開授

業の参観では、低学年の生活科の授業で身近な自然や物を利用して遊びの道具や遊び方をみんなで工夫し楽しむことができていました。また、中・高学年の社会科授業では、地域や生活に根ざした教材が使われ、児童は、たいへん興味をもち自分と社会の関わりを考え、積極的に発言したり、交流している姿が見られました。



霞堤の模型で実験する4年生児童

その後、全体会と分科会が行われました。分科会は、低・中・高学年と特別支援の4つの分科会に分かれました。分科会では、授業者より本時の意図と反省が述べられた後、参観された先生から多くの活発な意見が出されました。非常に有意義で充実した研究発表会が開催されました。

2回目の学校訪問を行いました

教育委員会による2回目の学校訪問は、10月6日池田小、10月13日八幡小、11月2日池田中、11月7日宮地小、11月13日養基小、11月21日温知小で開催しました。

今回は池田小、池田中の様子を紹介します。

池田小では

運動会でのことです。大玉運びの時、玉が2本の棒の間からこぼれ落ちてしまいました。焦れば焦るほど玉が転げ落ちてしまいます。その時、

「落ち着いて、がんばってください」と、妙を得たアナウンスが入りました。競技を盛り上げ、観客の気持ちとも



1年生算数の授業参観の様子

一体となった温かい放送に感心してしまいました。子どもたちは自分の係の仕事を一生懸命していました。そして、相手の身になって思いやれる心も育っているのを感じる瞬間でした。

池田小の子は「あいさつ」を誰にでも元気良くしようとしています。それは参観した授業の中でも大きな声で「はい」と返事をする児童の姿に表れていました。基本のことを繰り返し、丁寧に指導されてきた成果だと思えます。

池田中では

校舎の改装工事のため、一部仮教室も使われていましたが、参観した学級はすべて落ち着いた状況で授業が行われていました。また、中庭の砂が美しく手入れされていることが大変印象的でした。



1年生国語の授業参観の様子

教科指導においては、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、目標達成に向け取り組みを

一層強化しているとのことで、3〜4人の班学習による「聴き合い学び合う深い学びの創造」等への試みがなされており、これらの成果が表れることが期待されます。

また、授業参観の後、一人一人の先生方のお話から、人としての生き方指導が強く意識されていることや、誰一人として悲しい思いをさせないという先生方の思いを確認できました。

池田中の目指す学校像にある「志をもって未来を切り拓け」という言葉をいつまでも忘れず、社会に貢献してくれる卒業生が一人でも多く現れることを期待するものです。

みんな同じ目線に

〜車いすバスケット体験〜

「あれって、モーターついでるの?」

ウォーミングアップ中の車いすの選手が、なめらかに、そしてあまりにも速く走り回るのを



車いすバスケットを体験する八幡小6年生

はじめて見た児童がつぶやきました。

11月1日、県の人権啓発活動の一環で八幡小にやってきたのは、県内唯一の車いすバスケットボールチーム「岐阜シャイン」に所属する6名です。その皆さんを講師に、6年生が車いすバスケットを体験しました。

車いすは、両方の輪を両手で動かさなければならぬので、進む・止まる・曲がる、それだけで手一杯なのですが、そこにボールが加わり、ドリブル・パス・シュートを、何人ものディフェンスをかわしながらするというのは、簡単なことではありません。子どもたちは、ボールを持った途端に自由に動けなくなる自分にゆきもきしながらも、その間をしようと走り抜ける選手に励まされながら、無我夢中になって取り組んでいました。

障がいを理解しようとするとき、ともしれば障がいのある人とならない人との対比を起点に考えてしまうことがあります。今回の体験をした子どもたちは、障がいの有無は関係なく、みんなが同じ目線で楽しむこと、一緒に楽しむ方法があることを、車いすバスケットから学べたのではないかと思います。

第30回池田町文化祭

秋深まる中、池田町文化祭が開催されました。展示部門では292人の方が出展されました。

各々の作品には、作者の作品への思いがあふれ、豊かな表現力があり、どれも素晴らしいものばかりでした。

小中学生の作品展示では、一人一人の作品から制作している姿や表情が目に見え、浮かびました。



小中学生の力作がずらりと展示されました

力強い文字、画用紙いっぱい顔など、感受性豊かな子どもたちの作品を見ると、見ている側も元気がもらえます。子どもたちにはいつまでも伸び伸び育って欲しいと願っています。

全国学力・学習状況調査の結果から

今年4月実施の全国学力・学習状況調査（小6、中3対象）の結果が9月に届きました。

小学校では、国語・算数ともA問題（主として知識）が比較的できていました。中学校は、国語A、数学B（主として活用力）が比較できていました。小中学校とも、国語Bがよくありませんでした。

国語では文章でまとめることや、算数・数学では図表やグラフを数値と関連させて考える問題が苦手です。ひねった問題に惑わされないで正確に答を導き出す力を伸ばす必要があります。

学習に関する調査から、話し合う時間の確保やわかりやすく楽しい授業の実現が大切であり、また、就寝時刻やテレビ・ゲーム等に費やす時間の見直しなど、家庭での生活の改善にも力を入れる必要があることがわかりました。

家庭生活、学級集団、教科の授業、それぞれに工夫と充実を図りながら、総合的に児童生徒の学力の向上に力を注いでいく必要があると考えます。

新センター給食スタート

新給食センターは、大野町との連携で学校給食衛生管理基準を満足し、「安全で安心なおいしい給食」を提供できるよう最新の設備を備えた施設として完成しました。

本年9月より配食を開始し2か月が経過し、遅配等もなく運用できていることは受託事業者



おいしく給食をいただく温知小の児童

並びに関係各小中学校及び各保育園のご協力の賜物と感謝しております。

センターの操業は7時30分よりの食材の受入に始まり、各種野菜の洗浄等の下処理と同時に魚肉等の下処理を行い、野菜類は煮炊き調理室へ、魚肉等は揚げ焼き室へ運ばれて調理を行います。保育園向けの1番配送車出発時間10時30分を目標に各施設別・クラス別食缶に充填し、最後の配送車11時20分を目標に送り出しており、まさに時間との闘いです。また、配送は池田町内の4保育園、5小中学校と大野町内の3保育園、8小中学校へ合わせて20施設に5台の「かけはし」号で運行しています。

今後も「安全で安心なおいしい給食」、「子どもたちの笑顔」を目標に配食できるよう努力してまいります

自立できる子どもをみんなでたくむ池田町

地方創生から生まれたキャリア教育プロジェクトの目的や取り組みを知っていただくために町としての標語を「自立できる子どもをみんなではぐくむ池田町」としました。

現在、池田高校や池田中ではコーディネーターがキャリア教育の支援を行っています。

池田高校では、「なりたい自分に近づくチャンスプログラム」と題して、自分の将来に夢を抱き、未来に向かって道を開く人になってほしいという思いと将来地元根付き、地域を支える人材として育つことを願いとして取り組んでいます。池田町で活躍されている方を訪問し、仕事の内容や職業選択の経緯、高校生へのメッ

セージなどを取材し記事にまとめ、発表会を開催しました。



学び応援団代表理事 平田節子さんの講演会
(池田中にて)

池田中では、2年生職場体験の受け入れ事業所の開拓や連絡調整、生徒へのマナー講座や事前事後学習などを行いました。また3年生では、「池中15のREAL」として社会で活躍されている方を学校へお招きし、「働く」とは、「やりがい」とは、「挑戦する」とは、「15歳のときに思っていたこと」など15のテーマに分かれて座談会方式で話を聞きました。

地域とつながりあう中高生ボランティア

11月4日、池田町霞間ヶ溪スポーツ公園・総合体育館で「第36回池田っ子まつり」が開催されました。毎年小学生を中心に500人以上の参加者が集うイベントに、

ジュニアリーダーズクラブを含めた33人の中高生がボランティアスタッフとして参加しました。
小学生参加者がイベントを楽しんで笑顔になってもらえるために、「スタッフの一員として、また、最も身近なお兄さん、お姉さんとして今自分に何ができるか」という運営者サイドとしての立場を意識して活動したことが主体的・積極的な動きとなりました。



ブース運営の補助を行う中高生ボランティア

池田町子ども会育成協議会と社会教育課とで取り組む「池田町ジュニアリーダーズクラブ」では、リーダー研修会やボランティア活動などを通して、今後も池田中や池田高校との連携を深め、「誰もがリーダーとして活躍できる場所」「池田町をもっとよく知り、好きになれる場所」を目指していきます。

お知らせ

池田中学校の第1期大規模改修工事がもうすぐ終わります。

新しい校舎で学ぶことになる中学3年生のみなさん、自分の目標に向かって残りの中学校生活の日々を大切に過ごしてください。

編集後記

「教育委員会だより」第18号を発行することができました。

今後も年間3号の本たよりの発行を通して、「教育委員会」の行事や活動内容等を広く住民の皆様にお伝えできるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

編集担当 中村 昌秀、河村 安泰

教育委員会の主な活動報告 平成29年8月～平成29年11月

日付	活動	備考
8月 5日	学校教育事例発表会	中央公民館 大ホール
8月14日 ～16日	町内各小・中学校閉庁日	各小・中学校
9月15日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館 第3会議室
9月19日	池田中体育祭	池田中学校
9月23日	町内小学校運動会	各小学校
10月 5日	防煙教室	池田中学校
10月 6日	学校訪問	池田小学校
10月13日	学校訪問	八幡小学校
10月20日	池田町・養基組合合同教育委員会 第3者委員会	中央公民館 第3会議室
10月30日	池田町教職員研修会	養基小学校
11月 2日	学校訪問	池田中学校
11月 7日	学校訪問	宮地小学校
11月10日	市町村教育委員会連合会研究総会	飛騨市文化交流センター
11月13日	学校訪問	養基小学校
11月21日	学校訪問	温知小学校